

彩の歳時記

平成三十年 四月



春眠曉しゅんみんあかつきを覚えずおぼ処処しよしよに啼鳥ていあまうを聞く。夜来風雨やらいふううの声こゑ、花落はなおつること知る多少たしやう」

春の夜の眠りは心地よく、朝にも気づかなかった。あちこちで鳥が啼くのが聞こえる。昨夜は一晩中、雨まじりの風が吹いていたが、花はどれくらい散ってしまっただろうか。

昔は必ず中学か高校の教科書に掲載された漢詩「春曉しゅんぎやう」作者・孟浩然(689-740)は自然を飾りなく謳った盛唐の詩人。

千五百年前も今も変わらない季節の逡巡に、時の大きな流れを感じます。温暖差が激しく、古来から「花開くとき風雨多し」と

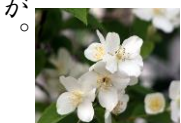
言い、薄い霞がかかる日が多く、頭痛・めまいが起きやすい時期、心身ともに疲労がたまり「暁を覚えず」の言葉を、時を超えて体感する季節です。



四月の暦

卯の花の咲く月で「卯月うづき」。卯の花は、初夏に沢山の花をつける。「ウツギ」のこと。

一日 エイプリルフル(四月馬鹿・万愚節) フランス・インド起源説などあり、詳細は不明。



江戸時代の末「不義理の日」として伝来、大正時代に広まったという意外に古い歴史が。

新学年 元々日本では、特に入学の時期は不定で、「1888(明治21)年から全国一斉にこの日に。

新会計年度 明治までは暦年とは別の「年度」はなく、一月から十二月までの会計だったが、

明治維新後、財政難で暦年と合わせられず、「年度」が作られ、明治二十一年から全国一斉になる。

五日 清明せいめい【二十四節気】

花が咲き始め、万物に清らか明るい気が溢れる。清浄明潔を略。

六日 寒の戻りの特異日 寒の戻りが起こる確率の高い日。

八日 花祭かまつえ【灌仏会】

仏教の開祖である釈迦の誕生日。釈迦が誕生の際、八王竜王が喜びの



あまり甘露の雨を降らせたという言い伝えにより、寺では釈迦の立像(釈迦は生まれてすぐ立ったので)に甘茶をそそぐ儀式を行い、参拝客は竹のひしゃくで甘茶をかける。

古くは、甘茶を持ち帰りこれで墨を擦り虫除けの呪いを書く効果があると信じられていた。

灌仏や 薦の若葉も あゆみそめ 加賀千代女(一七〇三〜一七七五)

イースター【復活祭】十字架にかけられて死んだイエス・キリストが三日目に蘇ったこと

を記念するキリスト教の最も重要な祝日。イースターエッグは卵が復活の



シンボルで、休止の間もその内側に新しい生命を宿していることに由来。

十四日 タイタニックの日 1912年(明治45年)、世界一の豪華客船といわれたタイタニック号

がニューヨークへ向けての処女航海中にニューファンドランド沖で氷山に衝突して沈没した日。1998年の映画「タイタニック」は、アカデミー賞「」部門受賞の大ヒット。



二十日 穀雨こくう 田畑の準備が整い、それに合わせて春の雨の降るころ。

二十九日 昭和の日 激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす日

昭和天皇の誕生日。昭和54年の天皇崩御後は、「みどりの日」とされたが、2007年からは「昭和の日」に。これに伴い、みどりの日は5/4に変更。ちなみに天長節(1927〜1948) 天皇誕生日(1949〜1988)、みどりの日(1989〜2006)、昭和の日(2007〜)と変遷。

四月の歌

風を集めて 1971年 アルバム「風街ろまん」収録

作詞の松本隆【1949〜】が、ダブルミーニングなどの技法を歌詞に取り入れ

た日本語ロックと呼ばれたバンド「はっぴいえんど」の楽曲で人気

高く、多くのアーティストがカバーしている。団塊の世代に人気の

居酒屋放浪記の作者で資生堂のアーティスト太田和彦【1946〜】

の人気「V番組「ふらり旅 いっ酒いっ肴」のテーマソング。

作曲の細野晴臣【1947〜】の祖父・細野正文(1870〜1939)は

「タイタニック号」乗船の唯一の日本人で生還している。



町のはずれの

背のびした路次を散歩してたら

汚点だらけの霧ごしに

起きぬけの路面電車が

海を渡るのが見えたんです

それでよくも

風をあつめて風をあつめて風をあつめて

蒼空を翔けたいんです 蒼空を